



### 海岸清掃の日

## 市民協働で海岸をきれいに

7月8日(日)、市内各海岸で一斉に海岸清掃が行われました。長門市では、毎年「海岸清掃の日」を定めており、今年も7回めとして市内10カ所で行われました。

日置地区の二位の浜では、地区住民や企業、サーファーら約200人が集まりました。大西市長が開会のあいさつ

をした後、参加者全員で二位の浜の海岸に漂着したごみを手で集めました。7月にしては涼しい潮風を受けながら、参加者は懸命にごみを集めていました。

この日市内全体で海岸清掃に参加した市民は1,416人、全部で8,480kgのごみが集められました。



▲二位の浜では2,090kgのごみが集められた

▼参加者は子どもから大人まで約200人



### ながと夏フェスタ①フィッシングスクール

## 親子で釣りの楽しさを知る

7月8日(日)、長門ヨットフェスタ2012の一環としてフィッシングスクールが仙崎の人工島防波堤で開催されました。

スクールには、11組・27人の親子が参加し、講師の指導を受けながらアジのサビキ釣りに挑戦。ライフジャケットを身に付け、慣れない手つき



▲仕掛けをお父さんにしてもらいます

▼お魚さん、釣れるかな？



でアミカゴに餌を詰め、次々と仕掛けを海へ投げ入れていました。はじめはなかなか釣れませんでした。30分後には徐々に釣れ始め、「釣れた！」と喜び子供たちの姿が見られました。

スクール終了後、参加者は全員で人工島のゴミ拾いをして解散したということです。

児童と大西市長と一緒に給食

## 地元食材の給食で元気に



7月11日(水)、神田小学校で、ながと食の日にちなんだ給食が行われ、大西市長と児童たちが一緒に給食を食べました。この日の給食の献立は、いずれも地元の食材を使用した、ごはん・牛乳・なすのそぼろ炒め、仙崎イカの酢の物、すいかでした。

給食の時間になると、大西市長が来校。大西市長は、「自分の育ったところでできた野菜を食べると、心もからだも元気になる、やさしい大人になれます」と話しました。その後、全校児童が大西市長とランチルームで一緒に給食を食べました。

ながと夏フェスタ②N・1グランプリ



▲優勝した長州屋は長州鶏を炭火焼にして提供

▼アイディア料理を求めて長い列ができる



## 2万枚の板に熱い思いを

今年もみすゞ燦参SUNでモザイク

7月14日(土)、仙崎出張所前で「金子みすゞモザイクプロジェクト2012」の打ち初め式が行われました。これは、金子みすゞの立体モザイクアートを造るもので、2003年から金子みすゞの故郷の仙崎に名産のかまぼこ板を使ってこれまでに9作品

が作られました。今年も、板1枚1枚にメッセージを書き込み、2万枚を使いモザイクアートを作ります。このモザイクアートは、11月10日完成予定で、みなさんのメッセージをひとつひとつのモザイクに書き込めるようになっていきます。

▼観光客もメッセージを書き込む



## アイディア料理で競う

7月15日(日)、昨年に引き続き「食の祭典 N・1グランプリ」が仙崎市場で開催されました。これはN・1グランプリ実行委員会が主催したもので、長門市の食材を使ったご当地グルメを1団体が1品ずつ提供し、来場者の投票でナンバー1を決定するというものです。地元の飲食店やサークルなど9団体が出店し

料理を販売しました。会場はアイデア料理を食べようと集まった多くの人が長い列を作り、大変な賑わいとなりました。最後に行われた表彰式では、食品加工会社 長州屋の「百姓庵の塩米仕立て炭火焼長州コロコロ丼」がグランプリとなり、昨年に続いて2連覇を達成しました。

## 食生活を改善して予防



7月17日(火)、長門市物産観光センターで「糖尿病予防講演会」が開催されました。これは、長門市の特定健康診査受診者の5人に2人が糖尿病に関しての生活習慣の改善が必要となっていることを受けて市が開催したものです。この日講師として招かれた

のは、齋木病院内科部長の植田浩平さん。植田さんは、「一旦糖尿病になると、食事や運動などをコントロールすることで数値が良くなることはありますが、完治することはないので、糖尿病になる前からしっかりと予防してほしい」と話しました。

## ジャパンラグビートップリーグが指導

## 本場の指導でレベルアップ

7月14日(土)には、俵山多目的交流広場においてラグビー教室が行われ、小学生から高校生まで約250人が参加しました。午前中に行われた小学生の部の教室では、NECグリーンロケッツのヘッドコーチで元ニュージールランド代表のクーパー氏が直接指導。参

加した児童は「声を掛け合つてパスを回すなど今日教えてもらったことに気をつけてこれから練習していきたい」と話しました。午後からは高校生の部が行われ、タツクルやスクラムなど、より実戦的な指導を受けました。



## ながと夏フェスタ③長門ヨットフェスタ

## 暑い夏に熱いレースを展開

7月15日(日)、長門ヨットフェスタのメインイベントのヨットレースとキッズトライアスロンが行われました。

さわやか海岸で行われたキッズトライアスロンには、市内外からの小学生86人が参加しました。競技は、小学校低学年がスイム25m、バイク1km、ラン500mで、高学年

はそれぞれその倍の距離でタイムを競いました。子どもたちは保護者らの声援を受け懸命に走っていました。

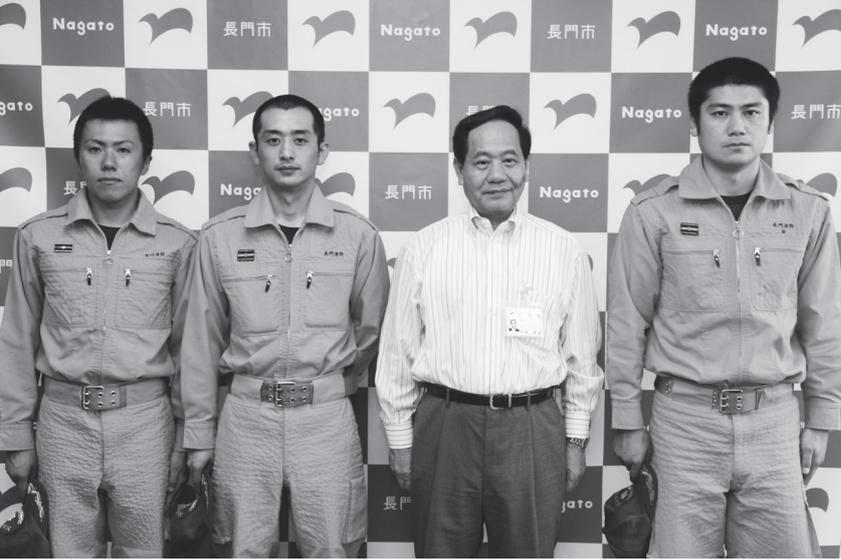
ヨットレースには、レーシングクラスに15艇、クルージングクラスに8艇が参加して深川湾から青海島を一周して仙崎湾にゴールするコースで順位を競いました。



▲キッズトライアスロンは真剣勝負

▼レース中のヨットにピンクシータスが接近





左から平川泰基選手、坂本直紀選手、大西倉雄市長、泉雅健選手

# 長門の People

7月11日(水)、全国消防救助技術大会出場報告会が市役所市長室で行われました。これは、7月4日に広島市で行われた第41回中国地区消防救助技術指導会の陸上競技ほふく救出の部において、長門市消防本部のチームが中国地区代表として全国大会に出場することになったことを報告するもので、出場選手3人と消防長らが市長室を訪れました。出場するのは、ほふく救出



消防本部での訓練のようす

## 全国消防救助技術 大会出場！ 長門市消防本部

ちよつと  
小耳に

報告会終了後、出場する3人の選手は市長から「全国大会に出場することは、日頃の訓練の賜物だと思えます。しっかりと訓練をしていただき、体力をつけて、市民の力強い声援を背にがんばってください」と激励しました。全国大会は、8月7日に東京都江東区のゆりかもめ新豊洲会場にて行われます。

の部の泉チームで、泉雅健選手、坂本直紀選手、平川泰基選手の3人です。この部門では、3人一組(要救助者を含む)で1人が空気呼吸器を装着して長さ8メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出したあと、2人で安全地点まで搬送します。

## 日置農業高校が国土交通大臣表彰 きれいな浜辺を守り続ける

7月20日(金)、日置農業高校で、同校が昭和41年から始めた二位の浜海岸の清掃活動に対して、国土交通大臣から表彰状が贈られました。

伝達式では、山田高義仙崎海上保安部長から生徒会長の長富遼さんへ表彰状が手渡されました。



## シーカヤック無料体験試乗会 海の上を滑るように進む

7月16日(月)、油谷伊上の伊上海浜公園オートキャンプ場の海岸で、シーカヤックの無料体験試乗会が行われ、市内外の小学4年生から大人まで21人が参加しました。

講習の後、油谷湾海岸沿いを通って行堂島を巡る往復2キロのコースをこぎました。

